

「日田祇園山鉾 集団顔見世」

7月19日(木) 14:30~催事

※一番山は、14:00頃
会場入りします。 於/JR日田駅前

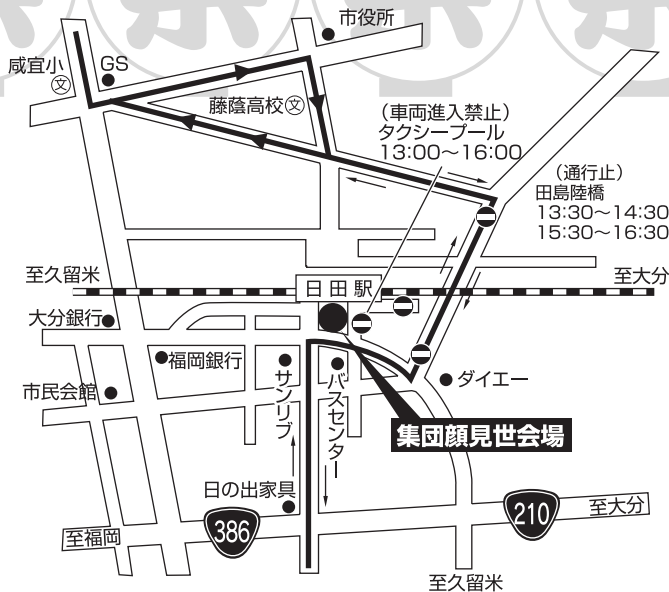
- 駅前での集団顔見世の実施に伴い、右図のとおり交通規制が行われます。ご迷惑をおかけしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。
- 天候により、中止となることがあります。
- お問い合わせは…

日田祇園山鉾振興会(祇園山鉾会館) ☎24-6453

日田まつり振興会事務局(市観光振興課) ☎22-8210

日田市観光協会 …………… ☎22-2036

★隈・竹田地区4基、豆田地区4基及び平成山の合計9基の山鉾がJR日田駅前に集合します。



○山鉾巡回コース(一印)には、車両の乗り入れを控えていただきますようお願いいたします。
(12:00~14:30・15:30~17:00)

重要無形民俗文化財 平成19年度 日田祇園の曳山行事

日田祇園は、約500年前に夏の厄除け行事として始まったと伝わっています。祭神(さいしん)は素盞鳴尊(すさのおのみこと)。豆田八坂神社・隈八坂神社・竹田若宮神社の三社の祭礼行事で、平成8年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

御輿の御神幸にお供する山鉾は、現在8つの町内に9基が造られています。全て町内の人達による手作りで、歌舞伎から題材を取った場面が日田唯一の祇園人形師「長嶋作造」さんの手により人形に命が与えられます。この飾りは毎年変えられますが、隈の日田祇園山鉾会館では隈・竹田地区の山鉾を常設展示しています。

現在の山鉾の高さは、最大級の平成山鉾で11メートル、隈・竹田地区の山鉾が8メートル、豆田地区の山鉾は電線の関係で6メートル、重さも3トンから5トンとなっています。かつては、江戸時代末期に高さ20メートルを超える山鉾も存在しました。これはかつての日田商人たちが、幕府直轄の天領という後ろ盾を背景に町内ごとに山鉾に形を変えて財を競ったもので、山鉾背面の見送りと呼ばれる垂れ幕にもその名残を見ることができます。

また、山鉾内で演奏される日田祇園囃子は、徳川末期から明治中期までの俗曲や端唄を篠笛にアレンジしたもので、1基の山鉾に笛5名、太鼓1名、三味線1名が乗り込み山鉾の巡行に合わせて30数曲のお囃子を演奏します。

日田祇園 今年の見送り

| | 町名 | 見送り | |
|--------|------|-------------------------|--|
| 豆田地区 | 豆田下町 | 天保7年(1836)製作 「鳳凰」 | 日田祇園祭では、山鉾の背面に2本の棒を立て、ラシャ地に小判をつぶして金泥とし、こよりによった金糸で豪華に刺繍した「見送り」と呼ぶ垂れ幕を下げます。 昔の見送りは「あかね草」で染めたラシャの布に御神紋だけが刺繍されたものであったと思われます。その後平刺繍が施され、明治の頃からは盛り上げ刺繍になりました。 |
| | 中城町 | 嘉永2年(1849)製作 「玄武」 | |
| | 上町 | 天保11年(1840)製作 「鯉の滝上り」 | |
| | 港町 | 明治26年(1893)製作 「牡丹に唐獅子」 | |
| 隈・竹田地区 | 川原町 | 平成8年(1996)製作 「素盞鳴尊大蛇退治」 | |
| | 三隈町 | 昭和60年(1985)製作 「龍」 | |
| | 大和町 | 明治39年(1906)製作 「鷺」 | |
| | 若宮町 | 昭和58年(1983)製作 「唐獅子」 | |